

平成24年度
実施事業

事務事業名	アイヌ文化講座経費
-------	-----------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	2	文化の保存・継承
小分類	2	アイヌ文化の振興
主要な施策	2	②伝統芸能、工芸に触れる機会の充実
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民にアイヌ文化を伝承し、アイヌ民族への理解・関心を深めてもらう。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	刺しゅう、織物、編み物等アイヌ伝統の材料や工法を使った作品の作成講座を開催する。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	アイヌ住民の社会的、経済的向上を図るとともに、市民にアイヌ文化伝承への理解を深めてもらい、アイヌ民族への福祉の充実や市民への周知を図る。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	296	280	280	280	280
事業費 合計			296	280	280	280	280

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 講習会への延参加人数（10回）		目標値	200	200	200	200	200
			実績値	116	97			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
アイヌの伝統作品（刺しゅう、織物、編み物）がどのようなものであるか知らない市民が多かった。	アイヌ文化講座を受講することにより、アイヌの伝統作品の種類やどのような材料を使用しているかを市民に周知することができた。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 アイヌ住民の生活の社会的、経済的向上と、アイヌ文化保存伝承のため行なう事業であり妥当性は高い
	<input type="radio"/>	② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 講座に関心を持っている一般市民の参加者が多く、必要性は高い。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 参加料の一部を徴収し前年度より予算削減となっており効率性は高い。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 講座参加者募集の際も、一般市民の参加が増加しており、アイヌ民族に対する関心が高まってきている様子が見られる。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	アイヌ民族の生活の社会的、経済的向上と保存、文化伝承のための講座の開催は必要であり、次年度以降も継続していく。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価（当該事務事業の方向性） 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）